



「唯一無二のしらかわ未来循環教育」

～Wellbeing指標の主観値向上が拓く、持続可能なまちづくりの未来～



名古屋市立大学 経済学部 1班
田中莉子、中嶋純、吉川真央、吉田七海
入野晃輔、加藤大聖、高橋篤史

2025/8/21

TABLE OF CONTENTS

01 提案背景

- ー背景と目的
- ーWellbeing指標の概要

02 現状の課題

- ー課題①:教育の質
- ー課題②:教育環境の変化による不安
- ー課題③:若年層の町外流出
- ー課題④:通学のしにくさ

03 提案内容

- ーあるべき姿の提案:理想の教育環境のビジョン
- ー解決策とロードマップ
- ー成果目標とまとめ



01

提案背景

- 背景と目的
- Wellbeing指標の概要

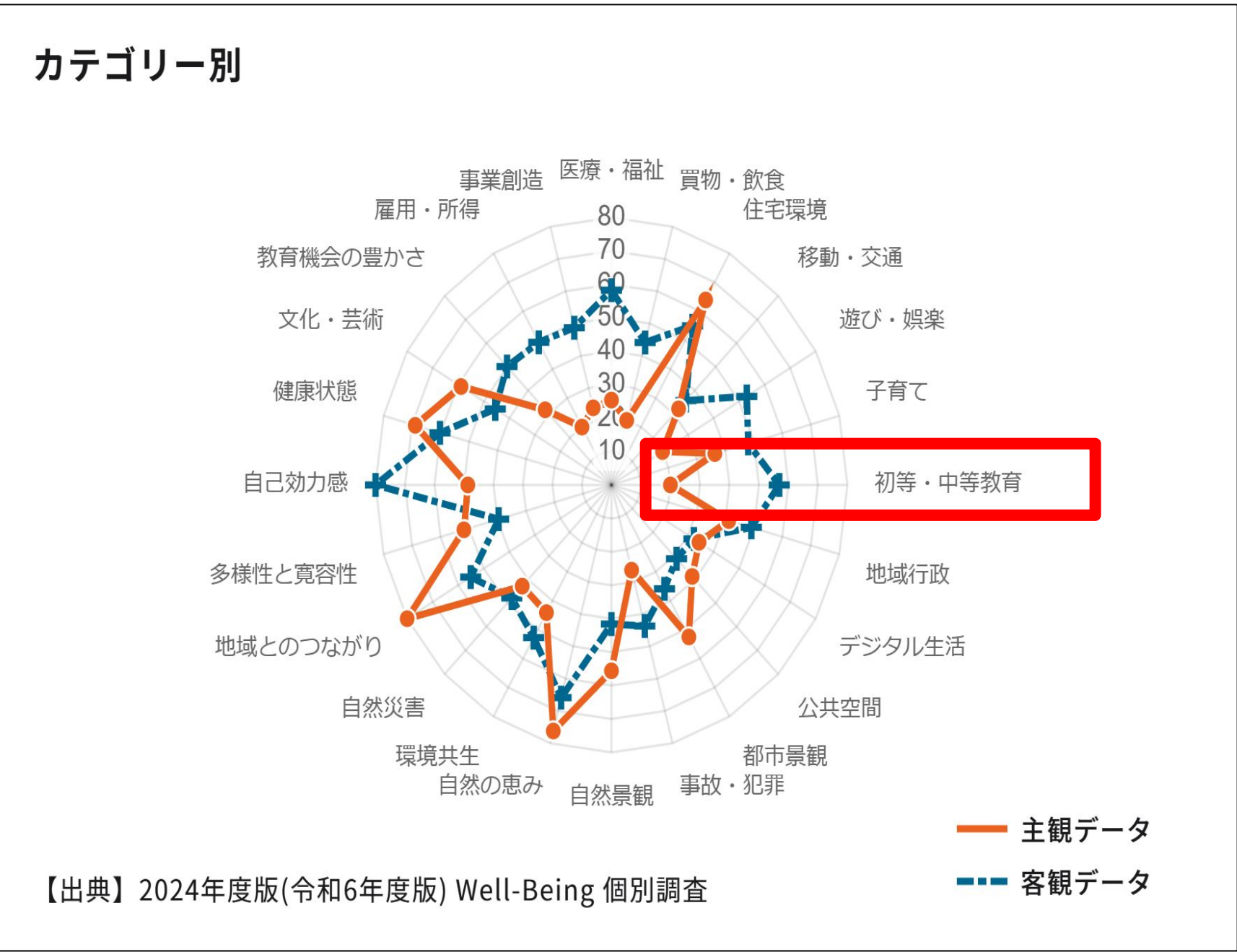
背景と目的

- ・白川町は、豊かな自然と歴史に恵まれた素晴らしい地域です。しかしながら、人口減少、特に若年層の流出という喫緊の課題に直面していると認識しています。
- ・白川町のWellbeing初等・中等教育の指標では、客観的なデータに基づく「客観値」が56.9であるのに対し、町民の皆様の「主観値」が20という大きな乖離が見られました。このことは、生活基盤は整いつつも、「心の豊かさ」や「日々の暮らしへの満足感」といった主観的な幸福度がまだ十分に満たされていない現状を示唆しています。
- ・そこで、本プレゼンテーションの目的は、このWellbeing指標の主観値を客観値まで引き上げることです。特に、未来を担う子どもたちの育成に直結する教育分野(初等・中等教育)に焦点を当て、人物像(小中学生／小中学生の両親／地域の高齢者)ごとに白川町の持つ資産、資源、知識を最大限に活用した戦略を立案し、そのロードマップをご提示することで、町民全体のWellbeing向上、最終的には、持続可能なまちづくりに貢献したいと思い、本資料を作成しました。

Wellbeing指標とは

- ・住民の「心の豊かさ」や「幸福度」を多角的に測る指標
- 主観データ: 住民の心の声(アンケート)のデータ
- 客観データ: 具体的な事実に基づいたデータ

白川町のWellbeing指標(全体平均)



- ✓「主観値:20」と「客観値:56.9」の乖離。
- ✓この乖離を埋めることが、持続可能なまちづくりに重要な鍵。

Wellbeing指標の概要

白川町のWellbeing指標（年代別・性別の主観値指標）

✓主観値が低い理由:ソフト面（教育環境）&ハード面（通学）に課題

✓年齢層（①小中学生／②親世代／③高齢者）で評価が異なる

ソフト面(教育環境)

ハード面(通学)

初等・中等教育													
性別	年齢	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている						私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある					
		非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	計	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	計
男性	10代	28%	28%	36%	8%	0%	100%	24%	28%	28%	16%	4%	100%
男性	20代	0%	0%	43%	43%	14%	100%	14%	0%	57%	14%	14%	100%
男性	30代	3%	16%	35%	22%	24%	100%	16%	8%	24%	27%	24%	100%
男性	40代	7%	14%	33%	32%	15%	100%	9%	22%	30%	22%	18%	100%
男性	50代	3%	9%	34%	28%	27%	100%	3%	10%	26%	29%	31%	100%
男性	60代	2%	8%	26%	38%	27%	100%	4%	8%	25%	33%	30%	100%
男性	70代	0%	7%	30%	33%	30%	100%	2%	11%	25%	30%	33%	100%
男性	80代以上	1%	8%	47%	26%	18%	100%	3%	15%	38%	24%	20%	100%
男性	計	2%	9%	32%	32%	25%	100%	4%	11%	27%	29%	28%	100%
女性	10代	15%	31%	38%	15%	0%	100%	15%	12%	38%	27%	8%	100%
女性	20代	25%	0%	50%	0%	25%	100%	25%	0%	25%	0%	50%	100%
女性	30代	3%	21%	17%	45%	14%	100%	10%	24%	21%	34%	10%	100%
女性	40代	2%	29%	32%	22%	15%	100%	8%	29%	25%	20%	17%	100%
女性	50代	1%	16%	33%	33%	17%	100%	1%	17%	30%	23%	30%	100%
女性	60代	1%	7%	33%	34%	26%	100%	2%	9%	31%	32%	26%	100%
女性	70代	1%	5%	34%	23%	37%	100%	1%	11%	30%	24%	35%	100%
女性	80代以上	1%	3%	50%	23%	22%	100%	2%	10%	42%	27%	19%	100%
女性	計	2%	10%	36%	28%	24%	100%	3%	13%	32%	27%	26%	100%

※:2024年度版Wellbeing個別調査のデータをもとに作成



小中学生の現状満足
10代の教育環境・通学に対する
肯定的回答率



親世代の現状満足度
20～50代の教育環境・通学に対する
肯定的回答率



高齢者の現状満足度
60代以上の教育環境・通学に対する
肯定的回答率



02 現状の課題

1. ソフト面（教育環境）

－課題①:教育の質

－課題②:教育環境の変化の不安

－課題③:若年層の町外流出

2. ハード面

－課題④:通学のしにくさ

現状の課題：

現状の課題

1. ソフト面 (教育環境)

2. ハード面 (通学)

教育の質

- ✓ 指標がない
- ✓ 近い世代の交流がない
- ✓ 経験が少ない



教育環境の変化の不安

- ✓ 学生の不安
- ✓ 保護者の不安
- ✓ 町としての不安



若年層の町外流出

- ✓ 10代・20代の強い転出意向と定着の困難さ
- ✓ 地域産業や仕事への理解不足
- ✓ Uターン・Iターンへのハードル



通学のしにくさ

- ✓ 通学時間が長い
- ✓ 学校の立地が悪い
- ✓ 交通手段の不便



1. ソフト面 (教育環境)／2. ハード面 (通学)の課題を解決することで、Wellbeing指標の向上が見込める！

白川町の持続可能なまちづくりにつながる！





03 提案内容

- ーあるべき姿のご提案:理想の教育環境のビジョン
- ー解決策とロードマップ
 1. ソフト面(教育環境)
 2. ハード面(通学)
- ー成果目標とまとめ

あるべき姿のご提案

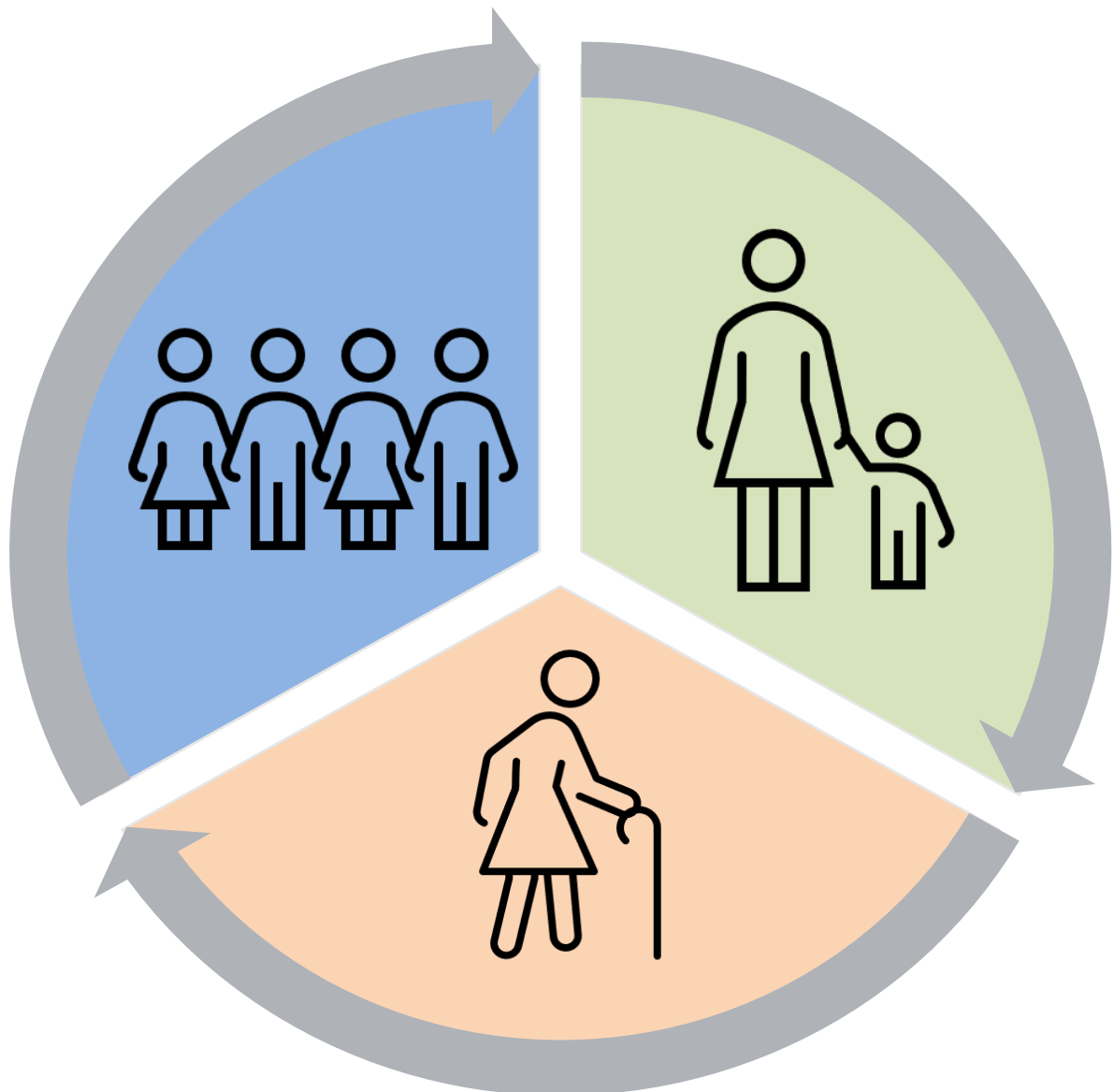
ビジョン:しらかわ未来循環教育

目指すべき幸福像

- 小中学生 : 「白川町で育ってよかった」と心から思える
- 小中学生の親 : 「白川町で子育てしてよかった」と満足
- 地域の高齢者 : 「白川町で子どもたちの未来を共に創る」という希望を感じる

1. 白川町の課題を自分ごととして捉え、解決に挑む子どもたち

2. 未来の白川町を創造するために、自ら学びを深める若者たち



3. 白川町に戻り、地域を自律的に牽引するリーダーたち

4. 地域に貢献し、新たな生きがいを見つける高齢者たち

解決策とロードマップ1. ソフト面（教育環境）

・林業を核とした持続可能な教育とまちづくりの確立

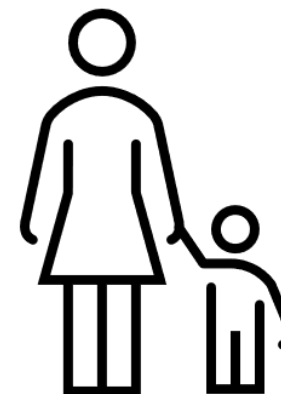
林業のイメージを3K(きつい、汚い、危険)から3S(スマート、サステナブル、セーフティ)へと刷新することによって、「しらかわ未来循環教育」を実現！

対象

小中学生

小中学生の親

地域の高齢者



あるべき
姿



地域に根ざした
「未来の担い手」の継続的な
育成ができる

「森の未来創造アカデミー」の
自立的な運営基盤が確立して
いる

自らの活動が若年層の定着
と町の活性化に繋がってい
ることを実感できる

解決策とロードマップ1. ソフト面（教育環境） * 小中学生

改善案の概要

あるべき姿：地域に根ざした「未来の担い手」の継続的な育成ができる

目的



短期（～1年後）
足元の課題解決と基盤づくり

林業のイメージをポジ
ティブな関心に変換

中期（～3年後）
地域連携の強化と独自の教育モデル構築

課題発掘から成功体験
のモデル確立

長期（～5年後）
持続可能な教育とまちづくりの確立

地域に根ざした「未来の担
い手」の継続的な育成

施策



- ・林業ってかっこいい！PR動
画・SNSコンテンツ制作
- ・木育イベントの定期開催

- ・スマート林業体験キャンプ
の定期開催
- ・地域林業企業様との連携に
よる職場見学・短期イン
ターンシップの実施

- ・未来の「林業イノベーター※」
育成プロジェクト

※革新者、新技術などの導入者を指す
※新しいアイデアや方法を積極的に導入し、
社会に変化をもたらす人物

担い手



- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会
- ・ヤゴーシラカワ

- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会
- ・地元企業
例)株式会社トーホー/株式会社翠豊

- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会

解決策とロードマップ1. ソフト面（教育環境） * 小中学生の親

改善案の概要

あるべき姿:「森の未来創造アカデミー」の自立的な運営基盤が確立している

目的



短期(～1年後)
足元の課題解決と基盤づくり

森の未来創造アカデミー
の基盤を築く

中期(～3年後)
地域連携の強化と独自の教育モデル構築

親が抱える教育、
キャリアに関する不安を
軽減

長期(～5年後)
持続可能な教育とまちづくりの確立

森の未来創造アカデミー
が自立的な運営基盤を確
立

施策



- ・白川町林業体験・木育プログラムを開発し、町内小中学校での試行を開始

- ・教育機関と連携し、子供の学習環境に関する不安を解消

- ・白川町型スマート林業エコシステム確立

担い手



- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会

- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会

- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会
- ・白川町森林組合

解決策とロードマップ1. ソフト面（教育環境） * 地域の高齢者

改善案の概要

あるべき姿：自らの活動が若年層の定着と町の活性化に繋がっていることを実感できる

目的



短期(～1年後)
足元の課題解決と基盤づくり

地域貢献の可能性に関
心を持ち、未来が明るい
と感じる

中期(～3年後)
地域連携の強化と独自の教育モデル構築

社会貢献への喜びを感
じ、経験が活かされるこ
とに満足

長期(～5年後)
持続可能な教育とまちづくりの確立

自らの活動が若年層の定
着と町の活性化に繋がっ
ていることを実感

施策



- ・伝承者発掘プロジェクト
- ・お試し林業体験デーの開催

- ・伝承者による林業体験プロ
グラムの開発・試行
- ・伝承者人材バンクの設立と
専門性強化研修の実施

- ・小中学校への継続的派遣と
連携強化
- ・伝承者による研修・体験指
導

担い手



- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会
- ・白川町森林組合

- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会
- ・白川町森林組合

- ・白川町役場
- ・白川町林業担い手育成協議会
- ・白川町森林組合

解決策とロードマップ2. ハード面（通学）

・「しらかわ通学バス」が描く地域がつながる、誇り高き学びの道

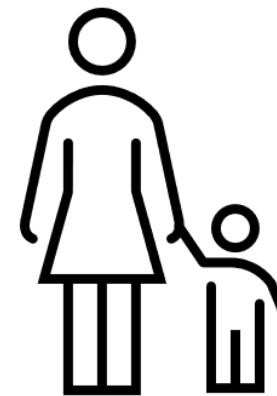
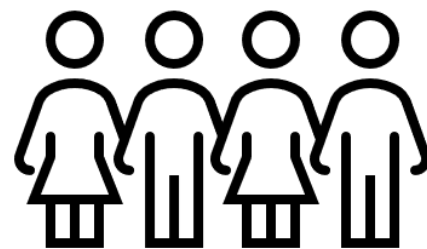
「しらかわ通学バス」は、単なる通学手段の提供に留まらず、**白川町の未来を育む多世代共創のプラットフォーム**となることを目指す！

対象

小中学生

小中学生の親

地域の高齢者



あるべき
姿



通学体験を誇りに思い、
自らの手で未来の通学文化
を創造する

通学時間が、親子の絆を深
める特別な時間となる

「未来につなぐ送迎応援プロ
ジェクト」が町のシンボルで
あり、誇りに感じる

解決策とロードマップ ii :ハード面(通学) *小中学生

改善案の概要

あるべき姿:通学体験を誇りに思い、自らの手で未来の通学文化を創造する

目的



短期(~1年後)
足元の課題解決と基盤づくり

サービスに関心を持つ
きっかけを創出

中期(~3年後)
地域連携の強化と独自の教育モデル構築

地域への愛着と自尊心を
育む基盤を築く

長期(~5年後)
持続可能な教育とまちづくりの確立

通学体験を誇りに思い、
自らの手で未来の通学文
化を創造する

施策



- ・初期エンタメコンテンツの導入
- ・実証実験開始とコミュニケーションデザイン

- ・サービスエリア拡大とエンタメ・学びコンテンツの深化
- ・5教科の勉強では得られない学びの場の創出

- ・子ども参加型企画の推進
- ・地域ブランディングと移住促進

担い手



- ・白川町役場
- ・濃飛バス
- ・白川町地域おこし協力隊

- ・白川町役場
- ・白川町社会福祉協議会
- ・白川町地域おこし協力隊

- ・白川町役場
- ・白川町社会福祉協議会

解決策とロードマップ ii :ハード面(通学) * 小中学生の親

改善案の概要

あるべき姿:通学時間が、親子の絆を深める特別な時間となる

目的



短期(~1年後)
足元の課題解決と基盤づくり

親子の新たな繋がり
の可能性を探る

中期(~3年後)
地域連携の強化と独自の教育モデル構築

通学時間が、親子にと
っての安心できる時間

長期(~5年後)
持続可能な教育とまちづくりの確立

通学時間が、親子の絆を
深める特別な時間

施策



- ・通学実態の詳細調査とGPS
追跡システム試験導入
- ・既存資源活用型ポッドキャ
スト試験配信

- ・ポッドキャスト配信インフラ
整備とコンテンツ企画

- ・通学中バス内ポッドキャスト
のメディア化と親子お便り
の常設

担い手



- ・白川町役場
- ・濃飛バス

- ・白川町役場
- ・濃飛バス

- ・白川町役場
- ・濃飛バス

解決策とロードマップ ii :ハード面(通学) * 地域の高齢者

改善案の概要

あるべき姿:「未来につなぐ送迎応援プロジェクト」が町のシンボルであり、誇りに感じる

目的



短期(~1年後)
足元の課題解決と基盤づくり

自分たちの応援が子どもたちの未来を創るという意識を醸成

中期(~3年後)
地域連携の強化と独自の教育モデル構築

継続的に応援する意識の定着

長期(~5年後)
持続可能な教育とまちづくりの確立

町のシンボルであり、誇りに感じる

施策



- ・未来を語るバス停物語の発信
- ・高齢者向け学校イベントへの送迎実証

- ・まごころ通学見守り隊としての交流機会創出

- ・白川未来伝承ゲストプログラムの確立

担い手



- ・白川町役場
- ・白川町社会福祉協議会

- ・白川町役場
- ・白川町社会福祉協議会

- ・白川町役場
- ・白川町社会福祉協議会



成果目標 (Wellbeing主観値の向上)

✓現状の満足度を基準に、長期（～5年後）の成果目標として、各世代で満足度 60%を向上させる。



小中学生の満足度

10代の教育環境・通学に対する

肯定的回答率



小中学生の親の満足

20～50代の教育環境・通学に対する

肯定的回答率



高齢者の満足度

60代以上の教育環境・通学に対する

肯定的回答率



「主観値:20」と「客観値:56.9」
の乖離が埋まる！



まとめ

✓教育環境と通学の両面から Wellbeing主観値を高めることで、白川町の持続可能なまちづくりを実現！

✓教育は未来への投資であり、Wellbeing視点で町民の幸福感を育む最も効果的な手段！

Thank you

ご静聴ありがとうございました！

Special Thanks to

白川町役場 さま

森林組合 さま

翠豊 さま

三宅 佳奈恵 さま



↑三宅佳奈恵 さまの応援をお願いします。
「あなたのフォローが審査の得点につながります。
私のページとBeauty Japan公式ページの両方をフォローしていただくことがポイントです。
皆さんの応援が、山を守る活動を未来へとつなげる力になります。リンクからフォローをお願いします！」